

宮崎大学医学部附属病院 消化器外科 専門医養成プログラム【第1外科】

1. プログラムの概略・特徴

本コースは、卒後臨床研修修了後外科専門医資格を取得し、更に、消化器外科専門医試験の受験資格を得ることを目標としている。

2. 研修目標

【一般目標】

日本外科学会による外科専門医取得のための修練カリキュラムに沿って研修を受け、この間、消化器外科専門医取得のための資格要件も満たすため、消化器外科の必要手術症例数の経験と、所定の業績・研修実績をクリアするための学会発表、論文作成、教育集会参加も行う。

【行動目標】

当科に入局後日本外科学会、日本消化器外科学会に入会し、その後、外科専門医取得のための修練を行い外科専門医を取得する。さらにこれと平行して、最短コースとして5年間で消化器外科学会専門医制度に示される指定修練施設での450例以上の症例経験（術者としての低・中難度手術それぞれ50例を含む）を積む。資格認定委員会の定める学術集会（全国学会）や学術雑誌（論文3編）への発表、規定の教育集会への出席が必要となる。

必要な症例経験、業績を満たした時点で、専門医試験受験の申請を行い、同年試験（筆記及び面接）を受けることができる。試験に合格すれば消化器外科専門医の資格が取得できる。

3. 研修スケジュール

卒後臨床研修修了後の最短コース

- 1年目 第1外科入局、大学病院で外科を研修。
- 2～3年目 大学病院もしくは関連病院で外科医としての研鑽を積む。
- 4年目 日本外科学会の専門医を取得する。
- 6～7年目 消化器外科専門医試験を受ける。

その間大学院生や医員として基礎あるいは臨床研究を行い、さらに教官、指導医として臨床外科の研鑽を積む。専門医取得後は消化器外科医として外科の activity の高い病院で活躍する。専門性をさらに追求し、肝胆膵外科、食道・胃外科、大腸肛門病外科、内視鏡外科などの専門医をめざすこともできる。また、高難度肝胆膵外科手術の術者として経験を積み、学会・論文発表を行い日本肝胆膵外科学会評議員の資格を得、その後、日本肝胆膵外科学会高度技能医資格の取得をすることも可能である。

4. 評価

目標に沿った研修を行い、最終的には日本消化器外科学会の資格認定試験により判断される。

5. 募集人員

5名

6. 実施責任者

宮崎大学医学部外科学講座 腫瘍機能制御外科学分野 准教授 近藤 千博（日本消化器外科学会：
指導医・専門医）

7. 指導責任者

宮崎大学医学部外科学講座 腫瘍機能制御外科学分野	准教授	近藤 千博
同	講師	甲斐 真弘
同	講師	大内田 次郎
同	助教	藤井 義郎
同	助教	池田 拓人
同	助教	大谷 和広
同	助教	前原 直樹
同	助教	旭吉 雅秀
同	助教	永野 元章
同	助教	今村 直哉
同	助教	矢野 公一

8. 関連施設、学会認定状況

指定修練施設：宮崎大学医学部附属病院、県立宮崎病院、宮崎市郡医師会病院、潤和会記念病院、藤元総合病院など。

日本肝胆膵外科学会高度技能医修練施設（A）：宮崎大学医学部附属病院

9. その他

現在 20 名の外科専門医と、12 名の消化器外科専門医が当科で勤務しており（関連病院を含めると外科専門医 33 名、消化器外科専門医 24 名）、当科及び関連医療機関で、年間 2000 例以上の手術が行われている。

また、当科は日本肝胆膵外科学会高度技能医修練施設の最高ランク A に指定され、年間 50 例以上の肝胆膵外科高難度手術が行われており、日本肝胆膵外科学会高度技能医資格の取得をすることも可能である。

その他消化器関連の取得可能な専門医として、消化器病専門医、消化器内視鏡専門医、内視鏡外科学会技術認定医、大腸肛門病学会専門医、食道科認定医などがある。

10. 連絡先

宮崎大学医学部外科学講座 腫瘍機能制御外科学分野

大内田 次郎

TEL：0985-85-2808

FAX：0985-85-2808

E-mail：jirooh@med.miyazaki-u.ac.jp